

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染予防と制御

暫定ガイドライン（随時更新）

2023年1月13日 改定版 キーポイント

原文（英語）：

Infection prevention and control in the context of coronavirus disease (COVID-19): a living guideline

13 January 2023

<https://www.who.int/publications/i/item/WHO-2019-nCoV-ipc-guideline-2023.1>

[更新箇所の抜粋]

パート2 地域（コミュニティ）環境下において

このセクションに組み込まれる予定の技術的なガイダンス文書の多くが、現在レビューされています。更新された情報が将来出版される版において利用可能になる予定です。このセクションには、地域環境における一般市民のマスク使用と小児のマスク使用に関するガイドラインが含まれます。未更新のセクションには、オンラインで公開されている関連 IPC ガイダンスの最新版へのリンクがあります。

マスクの使用について

背景

COVID-19 の世界的流行という緊急事態の急性期を終わらせるべく、WHO は 2022 年 COVID-19 戦略的準備・体勢・対応策を発表し、各国および世界の努力を支援するための戦略的介入を概説した。第一の目的は、SARS-CoV-2 感染の発生を減少させ、制御することである。これは、個人、特に重症化するリスクのある弱者や職業的にウイルスにさらされる人々を保護し、将来の変異種が発生する確率を下げ、医療システムに対する圧力を軽減するために不可欠なものである。また、第 2 の目的は、死亡率、罹患率、および長期的な後遺症を減らすために、COVID-19 を予防、診断、治療することである [4]。これらの行動は、ウイルスが進化する圧力と将来の変異種が出現する可能性を低減し、同時に医療システムの負担を軽減することができる [5]。

マスクは、SARS-CoV-2 の伝播を減らす予防・管理策の包括的戦略の一要素である。地域社会における感染を減らし、COVID-19 の流行が医療・社会サービスに与える影響を軽減することを目指す際には、マスクの使用に関する政策が、感染を抑えるための包括的な予防戦略（物理的距離、換気、マスク使用、手指衛生、咳エチケット、ワクチン接種）の 1 要素として含まれるべきである。

現段階の流行状況を考慮し、GDG は、マスク着用の有効性 [2]、現在の VoC (懸念される変異株) の疫学、伝播について (入手できるデータやパターン)、疾患の重症度と医療システムへの影響、ワクチンの有効性、アクセス、接種、潜在的な免疫回避に関するすべての利用できる証拠を検討した [3]。地域社会でのマスク使用に関して、比較的強い推奨と条件付推奨を行ったが、これは、マスク使用が有益であるシナリオの可能性の高さを示している。

地域におけるマスク使用について

強く推奨、エビデンスの確実性は低～中程度

WHO は、地域社会における SARS-CoV-2 の感染予防のために、以下のような状況でのマスクの使用を推奨している。

- 混雑した、密閉された、または換気の悪い空間にいるとき [16]
(例えば、物理的に 1 メートル以上距離をとることができない環境)
- COVID-19 に最近曝露した後に、他人と空間を共有する場合
(WHO の定義する曝露とは、可能性の高いまたは確定した症例、または COVID-19 感染クラスターと関連する症例との接触 [66][67])
- COVID-19 の徴候や症状を示す人、または COVID-19-陽性の人と空間を共有する場合
(COVID-19 の徴候または症状：咳、全身衰弱/疲労、頭痛、筋肉痛、喉の痛み、鼻風邪、呼吸困難、吐き気/下痢/食欲不振 [66])
- COVID-19 による重篤な合併症のリスクが高い人の場合
(高リスクは、60 歳以上の人、または心血管疾患や糖尿病、慢性肺疾患、がん、脳血管疾患、免疫抑制、肥満、喘息などの基礎疾患を有する人と定義されている [68])

条件付き推奨、エビデンスの確実性は低～中程度

WHO は、強い推奨がない状況においては、地域社会における SARS-CoV-2 感染予防のためにマスクを使用するかどうかを判断するために、リスクに応じたアプローチを提案する。

マスクの使用が好まれる要因

- 地域の疫学的傾向から、COVID-19 の感染や入院が多い、または増加していることを示している場合
- COVID-19 のワクチン接種率が低い場合
- SARS-CoV-2 に対する集団免疫が低い場合
- かなり混雑している*1、室内換気の悪さ、および/または個々の危険因子*2が存在する場合。

*1 条件付き推奨における混雑の程度とは、1m を超える距離を指している。距離を離すこととリスクの低下には関連性があるようだ。

*2 この条件付き推奨における状況では、明確な危険因子がない場合、健康状態全般が悪くなると（個々の基礎疾患が）重症化するリスクが増加するかどうかという視点で考慮しても良い。

導入における考慮事項

マスクの管理

適切な使用、保管、洗浄、廃棄は、マスクの種類に関わらず、その効果を最大限に発揮させ、感染リスクの増大を避けるために不可欠である。正しいマスク管理の実践に必要な事項は様々であるため、適切なメッセージを伝えていく必要性が強い [86]。WHO は、マスクの正しい使用法について、以下のガイダンスを提供している。

- マスクを着用する前に、手をよく洗う。
- マスクに破れや穴がないか点検し、破損したマスクは使用しない。
- マスクは口と鼻を覆うように慎重に装着し、鼻のラインに合わせ、顔とマスクの間に隙間ができないようにしっかりと結ぶ。耳かけを使用する場合は、マスクと顔の間の隙間が広がるため、耳かけを交差させないこと。
- 着用中はマスクに触れない。誤ってマスクに触れた場合は、手をよく洗う。
- マスクを適切に取り外す。マスクの表には触れず、後ろから外すように。
- マスクは濡れたらすぐに新しい清潔なマスクと交換する。
- マスクは廃棄するか、洗濯できるものならば清潔なプラスチック製の複数回密閉可能な袋に入れて保管する。マスクを腕や手首に巻いたり、あごまで下げた状態で保管しない。
- マスクを廃棄した後は、すぐに手を洗う。
- 使い捨てマスクは再使用しない。
- 使用済みマスクは、使用するたびに廃棄する。外したら直ちに適切に廃棄する。
- マスクを外して会話しない。
- マスクを他人と共用しない。
- 布製マスクは、少なくとも1日1回、石鹼または洗剤で、できれば温水（摂氏60度以上）で洗う。温水で洗えない場合は、石鹼・洗剤と室温の水で洗い、その後マスクを1分間煮沸する。
- マスクは、少なくとも1日1回、清潔なものに交換することが必要。

マスクの技術仕様の詳細については、WHO テクニカルガイダンス「[COVID-19 用個人用保護具の技術仕様](#)」（2020年11月13日発行・英語）を参照。

グッドプラクティス ステートメント

COVID-19 を示唆する徴候または症状*1がある人、あるいは COVID-19 の検査で陽性となった人

は、それが治まるか隔離期間が終了するまで、他人と空間を共有する場合には医療用マスクを着用する必要がある。

*1 COVID-19 の徴候または症状：咳、全身倦怠感/疲労、頭痛、筋肉痛、咽頭痛、鼻風邪、呼吸困難、吐き気／下痢／食欲不振 [66]

グッドプラクティス ステートメント

地域社会における SARS-CoV-2 の感染を減らすことを目的とした政策は、最新の科学的証拠に基づいて再検討され、強化され、更新されるべきである。

一般市民が使用するマスクの種類

一般市民が使用するマスクのタイプについて、政策立案者がガイダンスを提供したり、メーカーに基準を設定する場合の実施上の考慮事項。

導入における考慮事項

一般市民が利用できるマスクの種類は以下の通り

- 使い捨ての医療用マスク：医療従事者が、最低限の性能基準を満たす医療用マスクへのアクセスが保証されている場合*1。
- 安全性と有効性に関する基準*2に適合し、再使用前に洗浄できる非医療用マスク。
- 上記のオプションが利用できない場合に限っては、他のタイプのフィットする非医療用マスク*3も許容されるオプションである（地域の方針による）。

*1 医療用マスクの規格に準拠すること。（最低限）EN 14683 タイプ I、ASTM F2100 レベル 1、YY/T 0969、YY 0469（または同等品）。医療従事者の要件については、PPE 技術仕様書を参照。

*2 ASTM F3502-22a Standard Specification for Barrier Face Coverings に準拠、または WHO essential parameters を満たす普通の・非医療用マスク。詳しくは Practical information を参照。

*3 手作りの多層式マスクも含む。詳しくは Practical information を参照。

参考文献

2. Chou R, Dana T, Jungbauer R : Update Alert 8: Masks for Prevention of Respiratory Virus Infections, Including SARS-CoV-2, in Health Care and Community Settings. Annals of internal medicine 2022;175(9):W108-W109
Pubmed Journal
3. Coronavirus disease (COVID-19) weekly epidemiological update and weekly operational update [internet]. Geneva: World Health Organization; 2022; Website
4. Strategic preparedness, readiness and response plan to end the global COVID-19 emergency in 2022. Geneva: World Health Organization 2022; Website

5. WHO policy brief: Maintaining infection prevention and control measures for COVID-19 in health care facilities, 14 September 2022. Geneva: World Health Organization Website
16. Roadmap to improve and ensure good indoor ventilation in the context of COVID-19. Geneva: World Health Organization; 2021; Website
66. WHO COVID-19 Case definition. Geneva: World Health Organization 2022; Website
67. Contact tracing and quarantine in the context of COVID-19: interim guidance, 6 July 2022. Geneva: World Health Organization Website
68. Living guidance for clinical management of COVID-19: living guidance, 23 November 2021. Geneva: World Health Organization; 2021; Website
86. Machida M, Nakamura I, Saito R, Nakaya T, Hanibuchi T, et al. : Incorrect use of face masks during the current COVID-19 pandemic among the general public in Japan. Int J Environ Res Public Health. 2020;17(18):6484 Pubmed Journal

© World Health Organization 2023. Some rights reserved. This work is available under the [CC BY-NC-SA 3.0 IGO](https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/3.0/) licence.

WHO reference number: WHO/2019-nCoV/ipc/guideline/2023.1